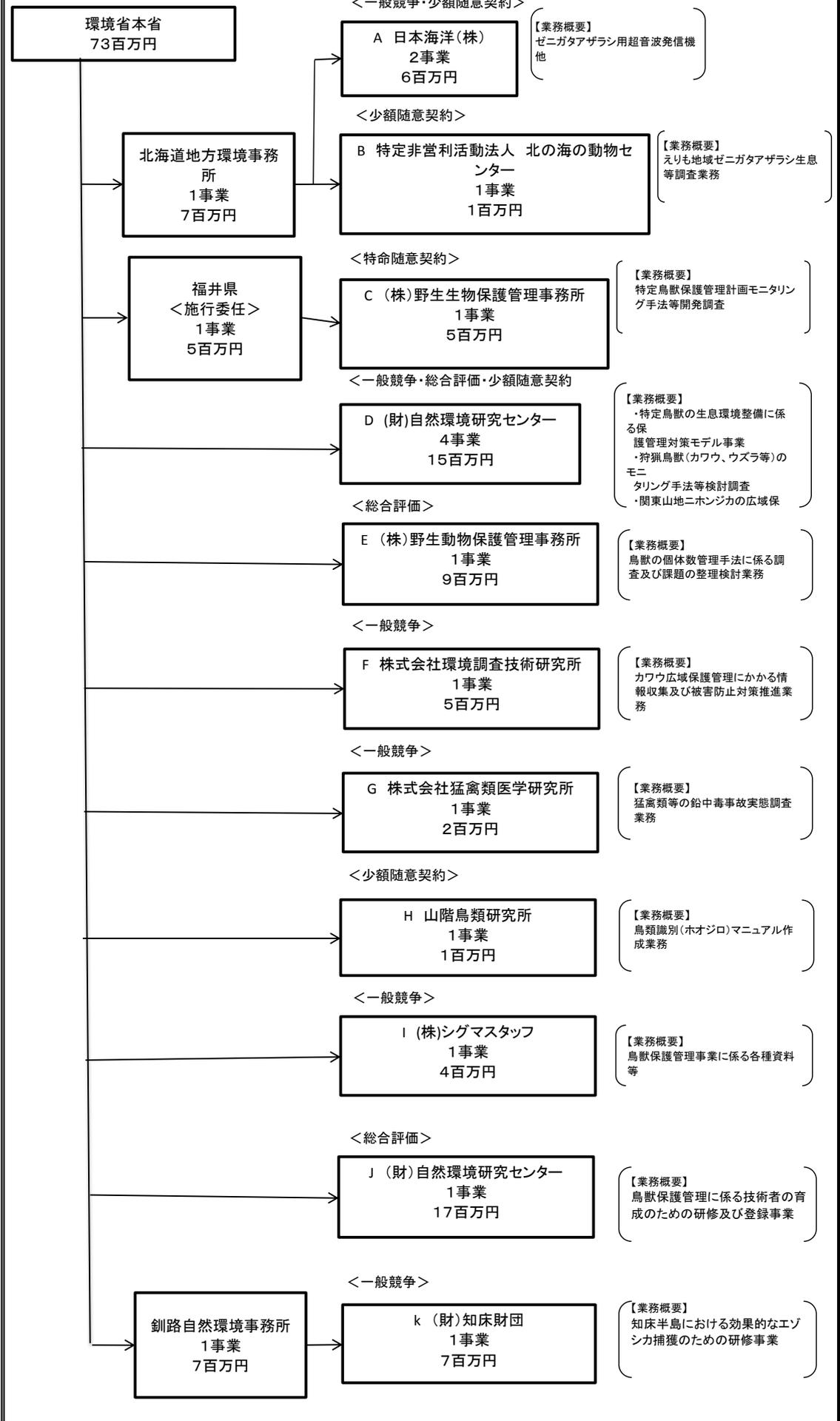


平成23年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	鳥獣保護管理対策費	担当部局庁	自然環境局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成12年度 (一部、平成16年度)	担当課室	鳥獣保護業務室	室長 宮澤 俊輔			
会計区分	一般会計	施策名	5-3 野生生物の保護管理				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	鳥獣保護法第6条、第78条の2	関係する計画、通知等	鳥獣の保護を図るための事業を実施するための基本的な指針				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	鳥獣保護管理を総合的に推進することにより、鳥獣保護法に基づく基本指針及び第11次鳥獣保護事業計画の実効が図られ、地域ぐるみでの鳥獣捕獲対策の全国における実施地域の拡大、錯誤捕獲の減少等の適切な鳥獣保護管理が図ること。また、広域的な保護管理指針が策定されることにより、関係省庁、農林水産省、関係都道府県、市町村等が、統一した考え方の下に保護管理を実施することで、当該鳥獣の地域個体群を維持しつつ農林水産業等への被害が軽減されることを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	上記について以下の通り実施。 ①鳥獣保護管理に係る人材育成事業として、鳥獣保護管理の担い手となる狩猟者育成、地域の人材育成事業の支援等を実施する。 ②特定鳥獣等保護管理実態を調査するため、特定鳥獣保護管理計画の実態調査等を実施する。 ③新たな鳥獣保護管理を推進するため、地域ぐるみでの有害鳥獣捕獲促進モデル地域づくり、クマ類等の錯誤捕獲防止技術開発等を実施する。 ④広域保護管理指針を踏まえた鳥獣保護管理の効果的な推進に向け、広域の保護管理の効果を検証するために各種の調査を実施する。 ⑤海棲哺乳類について、広域での保護管理の方向性を見いだすために基礎的な生息状況等に関する調査を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	146	126	124	110	-
		補正予算	85	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	231	126	124	110	-
	執行額	179	67	73			
執行率(%)	77%	53%	59%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	野生鳥獣の適正は保護管理と狩猟の適正化を目標としており、これらを定量的に数字で評価することは困難。	成果実績	-	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	野生鳥獣の適正は保護管理と狩猟の適正化を目標としており、これらを定量的に数字で評価することは困難。	活動実績 (当初見込み)	-	-	-	(-)	(-)
単位当たりコスト	- (円/)	算出根拠-					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	鳥獣等保護費	110	-	事業手法等の見直しによる減			
	計	110	-				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	適正な方法で契約を行っており、適正な執行がなされるよう執行状況、使途の把握に努めている。具体的には、請負事業者と密に連絡を取りつつ、進捗状況を把握し、管理している。加えて、随時事業実施に必要なアドバイスを行っている。さらに、必要に応じ職員が現地出張し、事業進捗や内容の把握を行っている。なお、最終的には、成果物の提出により内容確認を行っている。		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善	国と地方の役割分担を見直し、国の関与を真に必要な部分へ重点化すべき。		
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
縮減	事業手法等の見直しにより、鳥獣保護管理対策事業は、総合的かつ効率的に別事業として実施するため、廃止。		
	補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)		
-			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.日本海洋(株)			E.株式会社野生動物保護管理事務所		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
備品購入費	ゼニガタアザラシ用超音波発信機他3点	5	雑役務費	平成22年度鳥獣の個体数管理手法に係る調査及び課題の整理検討業務	9
"	ゼニガタアザラシ用*超音波受信機	1			
計		6	計		9
B.特定非営利活動法人 北の海の動物センター			F.株式会社環境調査技術研究所		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	えりも地域ゼニガタアザラシ生息等調査業務	1	雑役務費	平成22年度カワウ広域保護管理にかかる情報収集及び被害防止対策推進業務	5
計		1	計		5
C.(株)野生動物保護管理事務所			G.株式会社猛禽類医学研究所		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	平成22年度特定鳥獣保護管理計画モニタリング手法等開発調査	5	雑役務費	平成22年度猛禽類等の鉛中毒事故実態調査業務	2
計		5	計		2
D.(財)自然環境研究センター			H.山階鳥類研究所		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	平成22年度特定鳥獣の生息環境整備に係る保護管理対策モデル事業	6	雑役務費	平成22年度鳥類識別(ホオジロ)マニュアル作成業務	1
"	平成22年度狩猟鳥獣(カワウ、ウズラ等)のモニタリング手法等検討調査	6			
"	平成22年度関東山地ニホンジカの広域保護管理のための情報整備等事業	2			
"	平成22年度特定鳥獣保護管理計画実態等調査業務	1			
計		15	計		1

I.(株)シグマスタッフ			K.知床財団		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	鳥獣保護法の適正執行に係る各種関連業務の事務補助に関する派遣業務	4	雑役務費	知床半島における効果的なエゾシカ捕獲のための研修事業	7
計		4	計		7
J.(財)自然環境研究センター					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	平成22年度鳥獣保護管理における人材登録制度の運用及び活用事業	17			
計		17	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本海洋(株)	ゼニガタアザラシ用超音波発信機他3点	5	1	93%
2	日本海洋(株)	ゼニガタアザラシ用超音波受信機	0.5	随意契約	-

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	特定非営利活動法人 北の海の動物センター	えりも地域ゼニガタアザラシ生息等調査業務	1	随意契約	-

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)野生生物保護管理事務所	平成22年度特定鳥獣保護管理計画モニタリング手法等開発調査	5	随意契約	-

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)自然環境研究センター	平成22年度特定鳥獣の生息環境整備に係る保護管理対策モデル事業	6	2	90%
2	(財)自然環境研究センター	平成22年度狩猟鳥獣(カワウ、ウズラ等)のモニタリング手法等検討調査	6	1	85%
3	(財)自然環境研究センター	平成22年度関東山地ニホンジカの広域保護管理のための情報整備等事業	2	2	79%
4	(財)自然環境研究センター	平成22年度特定鳥獣保護管理計画実態等調査業務	1	随意契約	-

E

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)野生動物保護管理事務所	平成22年度鳥獣の個体数管理手法に係る調査及び課題の整理検討業務	9	2	89%

F

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社環境調査技術研究所	平成22年度カワウ広域保護管理にかかる情報収集及び被害防止対策推進業務	5	2	69%

G

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社猛禽類医学研究所	平成22年度猛禽類等の鉛中毒事故実態調査業務	2	1	98%

H

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	山階鳥類研究所	平成22年度鳥類識別(ホオジロ)マニュアル作成業務	1	随意契約	-

I

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)シグマスタッフ	鳥獣保護法の適正執行に係る各種関連業務の事務補助に関する派遣業務	4	2	89%

J

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)自然環境研究センター	鳥獣保護管理に係る技術者の育成のための研修及び登録事業	17	2	71%

K

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)知床財団	知床半島における効果的なエゾシカ捕獲のための研修事業	6	1	96%
2	(財)知床財団	エゾシカ捕獲手法検討調査業務	1	随意契約	-
3	(株)須田製版	パンフレット作成	0.07	随意契約	-